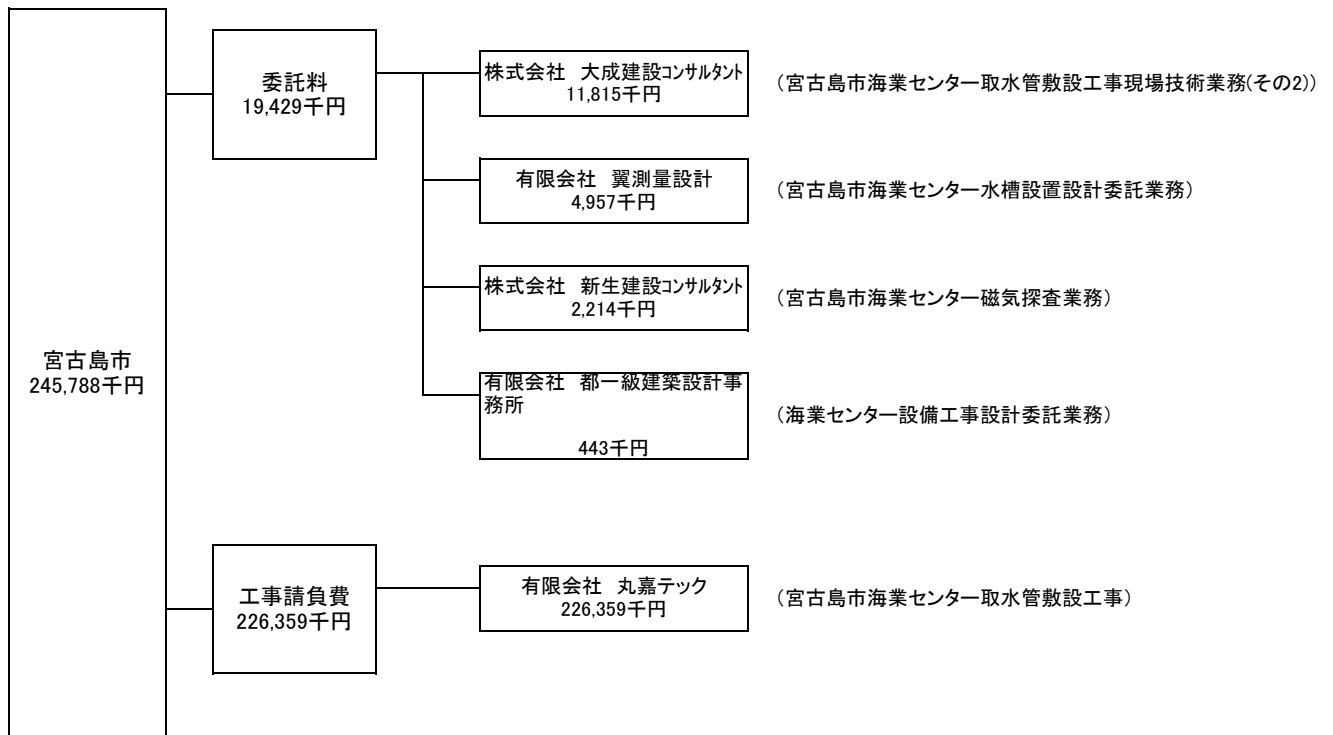


市町村名		宮古島市					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	宮古島市海業センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部課名	農林水産部水産課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	海業センターを機能強化することにより、養殖業の支援、栽培漁業の推進を図る為、取水管工事を実施し、工事に伴う現場管理業務を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	220,000	250,815	—		
		(b) 予算現額	191,519	250,815	—		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 28,481	0	—		
		(d) 繰越額	0	0	126,504		
	A. 計(b+d)		191,519	250,815	126,504		
	B. 執行済額		191,196	124,311	121,477		
	うち交付金充当額		152,956	99,448	97,181		
	次年度繰越額		0	126,504	—		
	執行率(%) (B/A)		99.8%	49.6%	96.0%		
予算の状況の説明		工事に必要な船舶の需要増加による調達困難のため計画を変更し、126,504千円をR1年度に繰り越した。入札差金により5,027千円が不用となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	取水管敷設工事(海上施工)の実施	目標	( 取水管敷設工事、現場管理業務 )	( 取水管敷設工事の実施 )	( )	( )	
		実績	取水管敷設工事、現場管理業務の完了	取水管敷設工事の完了			
	取水施設機械設備工事の実施	目標	( )	( 取水施設機械設備工事の実施 )	( )	( )	
実績			未実施				
達成状況説明	<p>予定していた取水管敷設工事及び現場管理業務を実施した。</p> <p>取水管敷設工事の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>取水管敷設</li> <li>被覆ブロック製作及び設置</li> </ol> <p>現場管理業務の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>取水管敷設工事の現場管理</li> </ol> <p>磁気探査業務の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>取水管敷設箇所の磁気探査</li> </ol> <p>水槽設置設計委託業務内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>水槽工事の設計業務</li> </ol>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	取水管敷設工事の完了L=480m	目標	( )	( 取水管敷設工事及び現場管理業務の完了 )	( 取水管敷設工事の完了 )	( )	( )
		実績		取水管敷設工事及び現場管理業務の完了	取水管敷設工事の完了L=480m		
	取水施設機械設備工事の完了	目標	( )	( )	( 取水施設機械設備工事の完了 )	( )	( )
		実績			未施工		
進捗状況説明	取水管敷設工事にあたり、取水管の製作に時間を要したことから、繰越事業となった。また、繰り越したことで台風時期と重なり、工事が遅れたため、令和2年3月に工事が完了した。取水施設機械設備工事は、取水管敷設工事の増額が必要になったことから、令和2年度に実施することとなった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・取水管敷設工事の実施に想定外の期間を要したことから、取水施設機械設備工事は後年度に実施する必要が生じた。</p>	<p>・事業の実施にあたっては、計画的な事業執行に努める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・計画的に海業センターの機能強化を行い、本市の種苗生産力の向上及び養殖技術向上に向けて取り組みを推進する。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
245,788	245,788	196,630	49,158	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△取水管敷設海上工事が大きく変更した事により、取水施設機械設備工事を後年度に実施する必要が生じたことから、一部改善を要した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	